



2025 年 4 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社アストロスケールホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 岡田 光信
(コード：186A 東証グロース市場)
問 合 せ 先 取締役兼 CFO 松山 宜弘
(TEL. 03-3626-0085)

APS-R の軌道上実証への拡張及び受注金額追加増額に関するお知らせ

当社の米国連結子会社である Astroscale U.S. Inc. が、APS-R の変更契約を新たに締結し、受注金額が再度増額したことをお知らせいたします。この変更は、燃料補給衛星 APS-R を全面的なミッション開発と運用実証に移行させるためものです。受注金額は、従前 29.4 百万米ドル (42.4 億円※1) から 41.2 百万米ドル (60.1 億円※2) に増額しました。2024 年 7 月 30 日付「[APS-R の受注金額増額に関するお知らせ](#)」及び 2024 年 10 月 3 日付「[APS-R の受注金額追加増額に関するお知らせ](#)」において、本プロジェクトに関する受注金額が増額した旨公表しておりましたが、本件は、更なる受注金額の増額となります。本件は、2025 年 4 月期第 3 四半期決算説明資料 32 ページにて開示しておりました「防衛案件 C」に該当し、最新のパイプライン状況は別紙の通りです。

APS-R は当初、軌道上で衛星に燃料補給を実施する衛星のプロトタイプの開発を行うプロジェクトとして、Astroscale U.S. Inc. が 2023 年 9 月に米国宇宙軍より受注したものであります。このプロジェクトは、米国宇宙軍の衛星への初の燃料補給に向けて範囲が拡張されました。Astroscale U.S. Inc. は、静止軌道で 2 回の燃料補給活動を実施し、衛星の動的運用（自由な移動）のための機動性と運用の柔軟性を高めることで新たな可能性を切り開きます。

各国で高まる防衛関連需要において、APS-R は当社グループにとって先駆的なプロジェクトであり、当社グループでは、将来期待される燃料補給サービスの需要拡大を早期に捉え、燃料補給技術の確立を目指し、軌道上サービスの事業機会を拡充させるうえで、APS-R を戦略的に重要なプロジェクトと位置付けております。

1. 受注内容

受 注 先 : 米国宇宙軍 Space Systems Command
契 約 当 事 者 : National Security Technology Accelerator (NSTXL)
プ ロ ジ ェ ク ト 名 : APS-R
契 約 範 囲 : 燃料補給衛星のプロトタイプの開発から静止軌道上での 2 回の実証運用に拡張
受 注 金 額 : 29.4 百万米ドル (42.4 億円※1) から 41.2 百万米ドル (60.1 億円※2) に変更
契 約 期 限 : 2025 年 9 月から 2027 年 2 月に変更

本変更契約は、本日合意決定し、最速で 2025 年 4 月 8 日（米国時間）に締結する予定です。

2. ミッション概要

Astroscale U.S. Inc. は、米国宇宙軍のために静止軌道にある米国国防総省の衛星に対して 2 回の燃料補給活動を実施します。このミッションは、商用のサービス、モビリティ及びロジスティクスの能力を軌道上で実証するものです。APS-R は 2027 年 4 月期中の打上げを予定しています。

APS-R は、静止軌道の上部で衛星燃料ヒドラジンの補給を行う初の衛星であり、米国国防総省が保有する衛星への史上初の軌道上燃料補給ミッションとなります。機動性を考慮して設計された 300kg の衛星に

は、補給可能なヒドラジン・タンクが搭載され、2回の運用計画中に顧客の衛星への燃料補給を行い、宇宙空間における顧客、サービサー、燃料補給設備を含む一連の燃料補給エコシステムを実現します。

このミッションは、拡張可能な燃料補給サービスのための宇宙技術を確立するものであり、宇宙における持続的な機動性を可能にするための重要なステップです。Astroscale U.S. Inc. は、Southwest Research Institute (SwRI) をバスサプライヤーに、Orbit Fab を燃料補給インターフェースの製造サプライヤーに選定しました。APS-R は、宇宙での動的運用（自由な移動）や、ミッション計画、レジリエンス及び即応性を高めるための選択肢を提供することで、成長する商業エコシステムの一翼を担います。

3. 今後の見通し

前回増額時の契約金額 29.4 百万米ドルに基づく収益に関する影響は、当社予算レート（1 米ドル＝140 円）により換算し、2025 年 4 月期通期の連結業績予想に含めておりますが、今回の増額分 11.7 百万米ドル（17.1 億円※2）による影響は含めておりません。本件に関する収益は 2027 年 4 月期までの期間にわたって計上される予定です。今後公表すべき事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。

- (※) 1. 2024 年 10 月 2 日現在における為替レート（1 米ドル＝143.93 円）により換算。
2. 2025 年 4 月 7 日現在における為替レート（1 米ドル＝145.78 円）により換算。

以上



パイプライン状況（政府・民間需要）

(2025年4月8日時点)

想定プロジェクトタイムライン

自己資金

政府機関（契約済）

民間（契約済）

● / ■ 打上げ予定

政府機関（未契約）

民間（未契約）

為替レート前提:
US\$1 = ¥140
€1 = ¥150
£1 = ¥175

								CY2020	CY2021	CY2022	CY2023	CY2024	CY2025	CY2026	CY2027
#	プロジェクト	サービス	顧客	当社拠点	費用負担	支払形態	計上科目	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026	FY2027	FY2028
契約済／選定済及び提案中のプロジェクト															
1	ELSA-d	-	-	-	自己資金	-	-								
2	ADRAS-J	ISSA	政府機関	日本	一部拠出	マイルストーン	売上収益	19億円							
3	ELSA-M	EOL	政府機関	英国	一部拠出	マイルストーン	売上収益	フェーズ2：2.9百万ユーロ（4億円）	フェーズ3：14.8百万ユーロ（22億円）	フェーズ4：13.95百万ユーロ（20億円）					
4	COSMIC	ADR	政府機関	英国	全額拠出	マイルストーン	売上収益		フェーズ0/A：0.3百万ポンド（0.5億円）	フェーズB：2.0百万ポンド（3億円）	フェーズ2（C1）1.95百万ポンド（3億円）	フェーズC/D/E：40~60百万ポンド*（70~105億円）			
5	ISSA-J1	ISSA	政府機関	日本	全額拠出	マイルストーン	その他の収益			2025年1月24日契約	フェーズ1：18億円	フェーズ2：63億円	フェーズ3：38億円		
6	ADRAS-J2	ADR	政府機関	日本	全額拠出	マイルストーン	売上収益		概念検討：9百万円	FL技術検討：0.7億円	120億円				
7	LEXI-P	LEX	民間/政府	米国	全額拠出	マイルストーン	売上収益					121百万ドル（169億円）			
8	K Program	LEX	政府機関	日本	全額拠出	マイルストーン	その他の収益				2025年1月22日採択	最大120億円 ⁽¹⁾			
9	CAT-IOD	ADR	政府機関	英国	全額拠出	マイルストーン	売上収益				2025年1月21日契約	フェーズA：0.59百万ユーロ（89百万円）	50~60百万ユーロ（75~90億円）		
協議中の潜在的プロジェクト															
i	政府機関	-	政府機関	-											

(1) 公募枠としての上限であり、消費税等を含みます。消費税等の取扱いについては、契約締結の際に速やかに情報開示いたします。
注：プロジェクトのタイムラインや未契約プロジェクトの契約金額等の詳細は現時点における会社の想定であり、今後変更の可能性があるので留意が必要。「全額拠出」は、契約に基づき拠出される資金により、当社グループが提案した範囲につき、当社グループが負担すると予想される経費の全額が補填されると当社が見込んでいることを示し、「一部拠出」は、契約に基づき拠出される資金により、かかる経費の一部が補填されるに留まると当社が見込んでいることを示す。各ミッションに係る実際の契約金額や、当社グループが実際に負担する経費の金額は、現時点における当社の想定から乖離する可能性があり、特に、契約締結時に想定されていなかった経費が契約締結後に追加的に発生した場合には、ミッションによっては基本的に当社グループの負担となるため、契約に基づき拠出される資金により、当社が負担する経費の全額を補填することができない可能性がある。



パイプライン状況（防衛関連案件）

(2025年4月8日時点)

想定プロジェクトタイムライン

自己資金

● / 打上げ予定

防衛機関（契約済）

防衛機関（未契約）

民間（契約済）

民間（未契約）

為替レート前提:

US\$1 = ¥140

€1 = ¥150

£1 = ¥175

								CY2020	CY2021	CY2022	CY2023	CY2024	CY2025	CY2026	CY2027
#	プロジェクト	サービス	顧客	当社拠点	費用負担	支払形態	計上科目	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026	FY2027	FY2028
契約済／選定済及び提案中のプロジェクト															
1	APS-R	LEX	防衛機関	米国	一部拠出	マイルストーン	その他の収益			近日、延長契約締結予定	41.2百万ドル (60億円)				
2	BAE Sys案件	ISSA	防衛機関	英国	全額拠出	マイルストーン	売上収益				2025年1月13日契約	5.15百万ポンド (10億円)			
3	防衛省案件	ISSA	防衛機関	日本	全額拠出	マイルストーン	売上収益				2025年2月25日契約	66億円			
協議中の潜在的プロジェクト															
i	MELCO (Bus) ⁽¹⁾	Others	民間/防衛	日本											
iii	防衛案件 D	Others	防衛機関	N/A											

(1) 2023年2月27日発表の安全保障用途の衛星バス共同開発・製造に向けた三菱電機との協業。プレスリリースは[こちら](#)。
注：プロジェクトのタイムラインや未契約プロジェクトの契約金額等の詳細は現時点における会社の想定であり、今後変更の可能性のある点に留意が必要。「全額拠出」は、契約に基づき拠出される資金により、当社グループが提案した範囲につき、当社グループが負担すると予想される経費の全額が補填されると当社が見込んでいることを示し、「一部拠出」は、契約に基づき拠出される資金により、かかる経費の一部が補填されるに留まると当社が見込んでいることを示す。各ミッションに係る実際の契約金額や、当社グループが実際に負担する経費の金額は、現時点における当社の想定から乖離する可能性があり、特に、契約締結時に想定されていなかった経費が契約締結後に追加的に発生した場合には、ミッションによっては基本的に当社グループの負担となるため、契約に基づき拠出される資金により、当社が負担する経費の全額を補填することができない可能性がある。